

# CYBER WORLD

マザックワールドコミュニケーションマガジン

## 最高の旋律の ために

To the Next Stage with M

### ワールド テクノロジー センタ

News & Topics

04 テクノロジーセンタ開設

Customer Report

05 株式会社 東海技研

07 株式会社 水沢鑄工所

09 N.E.W. Vietnam Co.,Ltd.  
(株式会社 長倉製作所)

11 Wolfert's Tool & Machine Co.,Inc.

13 MAZAK PEOPLE

15 美術館情報

Mazak

The Other Thoroughbred From Kentucky

2015  
No. 46



## 開設以来、延べ15万人が訪れた ワールドテクノロジーセンタ 「期待以上の満足」を手作りで提供

「おもてなし」はヤマザキマザックが創業以来大切にしている最も基本的な心構えです。その狙いは機械を購入していただくお客様や取引先とのコミュニケーションを深めることにあります。おもてなしを通じて「期待以上の満足」を感じていただくことは、マザックブランドに対する強い信頼につながるからです。その役割の一端を担っているのがワールドテクノロジーセンタです。



02



03



04



05

ワールドテクノロジーセンタは「工作機械にとどまらず、製造業が抱える問題に対してさまざまな解決策を提案する一方、経営面でのサポートを視野に入れた施設」(社長・山崎智久)として2006年4月、美濃加茂製作所の隣接地に開設。国内外に展開するテクノロジーセンタの中心的存在でもあります。延べ床面積は約1万平方メートル。館内は常設展示場やソリューションギャラリー、オーディトリウム、商談室、ラウンジ、ダイニングホールなどで構成。開設以来、これまでに延べ15万人(海外来場者含む)をお迎えしています。

### 最新機械の展示とおもてなしを二本柱に

「開設以来掲げているのは、最新機械の展示を通したお客様への最適なソリューションのご提案と最高のおもてなしの二本柱」(河合孝信センター長)。それぞれの柱をより確かなものにするため、スタッフはテクニカルソリューション、ホスピタリティのいずれかのチームに属しています。前者は主にショールームの運営やイベントの企画などを担当。トータルソリューションの一環として、周辺機器メーカーと開く合同技術セミナーにも参画しています。

後者はすべて女性で構成され、約300名収容可能なオーディトリウムの運営や来場者の対応などにあたります。オーディトリウムでの会社概要説明はお客様や担当営業の希望に応じた複数のバリエーションを用意。少人数でも貸し切り状態で行われることに感動されるお客様も多いようです。

### 一人ひとりに手渡されるサンクスカード

多様な素材、形状のサンプルワークや加工事例などを業種ごとに集めたソリューションギャラリーの展示方法は一般の人にも分かりやすいと好評です。

昨年11月からは来場者一人ひとりに手書きのサンクスカードを手渡し取り組みを始めています。ホスピタリティチームの発案によるもので、メッセージだけでなく、新製品紹介や周辺観光案内など、中身は盛りだくさん。日本語のほか、英語、中国語、韓国語版もそろえています。

▶メッセージカードのほか、美濃和紙で作った名刺ケースなどさまざまなお土産を考案



- 01. 受付スタッフのお迎えから始まるおもてなし
- 02. オーディトリウムでは会社概要説明が行われるほか、当社紹介ビデオ「Making Tomorrow」が上映される
- 03. 世界中のテクノロジーセンタの中でも最大の面積を誇るショールーム
- 04. 機械の説明を行う、専属のオペレータ
- 05. 「日本」をイメージした、赤と白で統一されたエントランス。天井のトラス構造は3D FABRI GEARで加工されたもの



人による感動を与えたい

ワールドテクノロジーセンタが営業支援をする商談の場であることはもちろんですが、「期待以上の満足」を提供するのに、おもてなしを中心に据えた人の力を重く見ていることがお分かりでしょう。実際「施設のしつらえで感動させることはもちろん、“人”で感動させることに努めています」(同)。

その気持ちを忘れないため、スタッフ全員が毎月「感謝レポート」を作成し、自分以外のメンバー一人ひとりに対する感謝を具体的な言葉に表しています。「人に感謝する習慣が身に付けば、自ずとお客様や他部署の人などにも常に感謝の気持ちでいられるようになるからです」(同)。

機械の進化にもおもてなしの心にも「これで終わり」という限界はありません。マザックはワールドテクノロジーセンタの運営を通じて、お客様に「期待以上の満足」を感じていただくことで一層の信頼を得られるよう、日々より良い施設づくりに努めています。



01. ラウンジ「Café LUCA」  
02. 実機のデモ加工を見学  
03. お客様がお帰りの際には、スタッフからお土産を手渡す  
04. 商談の間にも楽しんでいただけのゴルフの練習場

News & Topics



01. 設備意欲の高まりが感じられる大盛況の展示ブース  
02. 順番待ちの列ができるほど人気のMAZATROL SmoothXのコーナー



瀬戸内テクノロジーセンタ来春開設へ  
告知を兼ねたソリューションフェアも



マザックは中国・四国地方のお客様のサポートに狙いを定めた瀬戸内テクノロジーセンタ(岡山県都窪郡早島町)を来春開設します。延べ床面積は約2600平方メートルで、建物は事務所、ショールーム、三次元測定室、会議室、トレーニングスクールなどで構成。最新の機械やシステムなどを揃え、専門スタッフが新規設備の検討や生産合理化の相談などにあたります。これまで西日本テクノロジーセンタ(東大阪市)か九州テクノロジーセンタ(福岡県太宰府市)に足を運ばなければならなかった

同地方のお客様にとっては交通アクセスを含めた利便性の高い施設となります。

事前告知を兼ねて6月19、20の両日、コンベックス岡山で開かれた「ソリューションフェアin瀬戸内2015」には2000人を超える来場者が参加。「交通の便が良いので、マザックがより身近になる」「遠方に行かなくてもマザートルールスクールを受講できるのでありがたい」など開設を待ち望む声が多く聞かれました。

ハンガリーテクノロジーセンタが来春開設  
中欧のサポート強化担う14カ所目の施設

マザックの海外サポート施設としては欧州14カ所目となるハンガリーテクノロジーセンタが来春オープンします。自動車、電気、一般機械など各産業関連の活発な海外企業受け入れに伴って拡大する工作機械需要に応えるのが狙い。国内ばかりでなく、近隣諸国のお客様へのサポート強化を担う拠点としても期待されています。

首都ブダペスト近郊の工業団地内にある開設予定地で行われた起工式には欧州マザックグループ総支配人のマーカス・バートンをはじめとする欧州地区の首脳陣らが顔を揃え、日本式のクワ入れに臨みました。



01. 起工式におけるクワ入れの様子  
02. ハンガリーテクノロジーセンタ完成予想図





01

COMPANY PROFILE //////////////////////////////////////



## 株式会社 東海技研

代表取締役社長：加藤 久雄  
所在地：岐阜県恵那市長島町永田307-54  
従業員数：56名

www.tokaigiken.com



Customer Report 01

Japan 株式会社 東海技研

NEXUS 200-IIやQUICK TURN 200を  
主力に45台のマザック機が稼働しています。



「マザック機はオペレータの教育でより生きる」と語る加藤専務

短納期を実現する手立ての一つは切削加工ばかりでなく、熱処理や表面処理まで自前で行う一貫生産体制です。加工ラインでは一人のオペレータが複数台を持つことで生産性を向上。手がける1000種類以上のアイテムはすべてバーコードで管理し、いつでも誰でもどこからでも製造の進捗状況を確認できる仕組みも整えています。そのデータは難削材を含む膨大な素材管理にも生かされています。

「しかし、短納期に最も大きく貢献してくれているのは創業時から導入している数多くのマザック機でしょう」(同)。



技術力の高いオペレータがあらゆるオーダーに対応

「最近増えている難易度の高い仕事こそマザック機が役立つのですが、その効果を最大限に引き出すには扱う『人』が成長していかなければなりません。マシンと人とのバランスを車の両輪のように保っていくためにも今後は教育の充実を図りたいですね」(同)。

同社は社員研修の場としてマザックのワールドテクノロジーセンタを活用。研修の成果は現在増設している工場が本格稼働したときの納期短縮に役立っているはずです。



ワールドテクノロジーセンタで開催された今年の社員研修

## 今後の発展を支える「人」の成長に期待

「今日の発展はマザック機という“資源”を有効活用できたことによります。特に、対話型で組むマザトロールのプログラムは先方の急な工法変更要求にもたやすく応じられるので助かります」(同)。同社の試作ラインでは、VARIAXIS 500-5X IIをはじめとする同時5軸機やさまざまなマシニングセンタが中心機種となって迅速な加工を実現。CNC旋盤の加工エリアではQUICK TURN

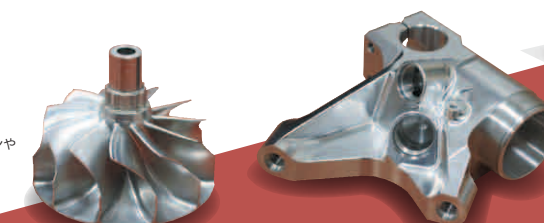
すべての工業製品が世の中に出るためには試作を避けて通ることはできません。あたかも大海に至る川の流が山奥に潜む一筋の源流から始まるのと似ています。その重要性に着目した加藤社長は1988年1月、有限会社東海技研を設立。自動車精密部品の試作加工を主力として事業を拡大してきました。2003年には株式会社に組織変更。数次にわたる工場の増設や新築を経て07年、現在地に本社工場を新築移転しました。

主力製品はショックアブソーバー、パワーステアリング、ターボチャージャー、スーパーチャージャーなどの試作部品。国内外のレースで採用される高精度の特殊部品製造にも定評があります。取引先は国内自動車部品関係の大手企業ばかり。それだけに、求められる仕事の水準や到達点は格段に高く、同業他社の多くが早い時点で手を引きます。製品が特殊すぎる、数が少なすぎる、納期が短すぎる、素材が硬すぎる——。他社の嫌がる仕事は逆に同社のビジネスチャンスを広げました。

## 試作で鍛えた小回りの良さが強み

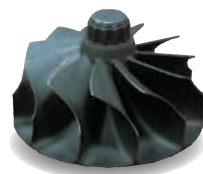
同社の強みは、他社が尻込みする理由をすべて受け入れる体制を整えていることです。「試作品を手がけることで培われた小回りの良さはどこにも負けません。短納期、少量生産、難易度の高いものづくりは試作の宿命なので、どんなオーダーにも極力応えられるよう、知恵を絞っています」(加藤規久専務)。

▶ターボチャージャー部品。アストンマーチンやフェラーリにも使われている



## Customer Report 01

## 頼まれた仕事は決して断らない技術力と誇り



Japan 株式会社 東海技研

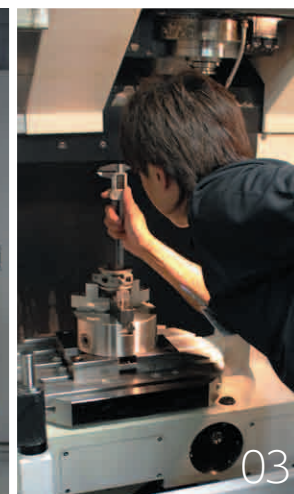
「ヒトの嫌がる仕事を喜んで行う」——。株式会社東海技研(岐阜県恵那市、加藤久雄社長)の社是は明快です。社名に“技研”が付く企業の多くがそうであるように、同社の社名にも「試作を通して自社の技術力を世に問いたい」という加藤社長の職人魂と誇りが込められているようです。「面倒な試作は東海技研に持っていき」と同業者も一目置く評価はどのようにして生まれたのでしょうか。



Gifu, Japan



02



03



04

- 01. 整然とした工場内にマザックオレンジが映える
- 02. 真剣な眼差しで作業に集中するオペレータ
- 03. 妥協しない、精度へのこだわり
- 04. 作業中の真剣な表情から一転、笑顔が素敵な社員のみなさん





## 株式会社 水沢鑄工所

代表取締役社長：及川 勝比古  
所 在 地：岩手県奥州市水沢区太日通り1-8-15  
従 業 員 数：58名



## 鑄造、機械加工、粉体塗装の一貫生産で臨む

同社の特質は鑄造に始まり、機械加工、粉体塗装に至る一貫生産体制で臨んでいることです。「受注後、速やかに製品化できるのも敷地内で完結する一貫生産だからこそ」(同)。

この生産体制の機械加工の大半を担うのがCNC旋盤や複合加工機を中心とするマザックの製品群です。マザック機との縁は機械加工を始めた1984年のQUICK TURN 10から。内釜製造が本格化した2011年以降は毎年、新規設備を導入しています。内釜開発のポイントは「す」が入らないよう厚めに鑄造して薄く削ることでした。薄く削る加工法については、マザック東北テクノロジーセンタがプログラムの作成などで協力し、象印マホービンの厳しい要求水準を見事にクリアしました。

砂鉄、木炭、良質の砂と粘土。鑄物づくりに必要な材料がすべて容易に揃うことで栄えたといわれる岩手県奥州市の南部鉄器。水沢鑄工所はこうした産地基盤を生かして1946年に創業。63年に現在地に本社工場を移しました。69年には現在の体制に改組。普通鑄鉄、ダクタイル鑄鉄による鑄物を製造しています。

一般産業機械部品が主力だった同社に炊飯ジャーの内釜製造の依頼が舞い込んだのは2010年末のこと。新製品の決め手となる内釜を加工できる会社を日本中で探していた象印マホービンが3年間を費やしてやっと辿り着いたのが同社でした。



同社では新旧数多くのマザック機を導入している



アール形状が連続する微い加工

ノウハウを駆使して手がけた治具の力でしょう。製造現場では、プログラム上だと加工できるが、実際に加工すると工具がワークに干渉するといった問題に悩まされていました。そこで、特殊形状の工具を提案するなど試行錯誤を重ねながら、社員一丸となって取り組んだことが結果に結びついています」(同)。



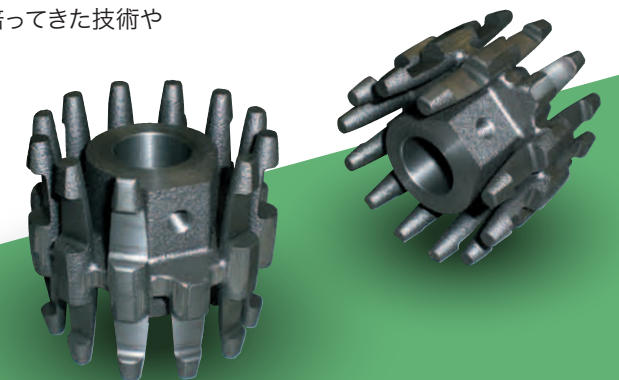
「座右の銘はない。しかし、常に“誠実”でありたい」と及川社長は言う

今回の内釜製造を通じて、鑄物そのものの可能性を広げた同社は「コア技術である鑄造を生かした自社製品を作る体制整備」を今後の目標に掲げています。「そのためには、常識にとらわれないものづくりと技術継承が不可欠」と明言する及川社長の頭の中には、内釜製造の成功体験を踏まえた画期的な製品の青写真がひそかに描かれているかもしれません。

## ゆくゆくは自社製品を作る体制を整えたい

「理想的な薄さの加工に貢献したのは弊社の治具製作班がこれまで培ってきた技術や

▶ 同社の製作する鑄造製品。  
割れにくいダクタイル鑄鉄を  
扱える企業は同県内でも少ない



## Customer Report 02

## 鑄物の可能性を飛躍的に広げた内釜開発

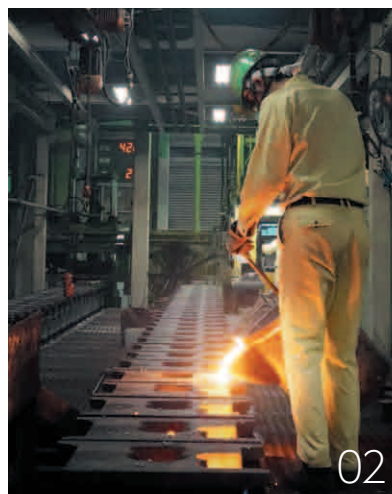


## Japan 株式会社 水沢鑄工所

炊飯ジャー、温水洗浄便座、保温ボトルは来日する中国人観光客が爆買いする「三種の神器」と呼ばれているそうです。その筆頭を飾る炊飯ジャーのヒット作、象印マホービン「極め羽釜」の内釜を一手に加工しているのが株式会社水沢鑄工所(岩手県奥州市、及川勝比古社長)です。南部鉄器の産地基盤を背景に、船舶部品や鉄道の踏切部品を手がけていた同社が家電製品に本格参入したきっかけとは。



Iwate, Japan



02



03



04

01. 炊飯ジャーの内釜。南部鉄器の重厚感と、女性でも扱いやすい絶妙な薄さを追求  
02. 1500℃の鉄を鑄型に流し込む様子  
03. 鑄造に始まり、機械加工、粉体塗装に至る一貫生産体制が同社の強み  
04. 及川勝比古社長(前列左から4番目)を囲む機械加工課社員のみなさん





## Customer Report 03

### グローバル展開見据え、精密部品を一貫生産

#### Vietnam N.E.W. Vietnam Co.,Ltd. (株式会社 長倉製作所)

N.E.W.ベトナム社は冷間鍛造専門の株式会社長倉製作所(静岡県沼津市、長倉修二社長)が2002年に開業したベトナムの現地工場です。長倉製作所が日本で冷間鍛造処理した高精度部品の機械加工を受け持ち、手がけた製品はすべて米国、日本、中国、タイ、インドネシアなどに輸出。100台を超えるマザック機による製造ラインを整え、グローバル展開を掲げるグループ戦略の一翼を担っています。



02



03

- 01. 工場内の様子。日々、若い現地人スタッフが多く活躍している
- 02. 広い工場内には旋盤がひしめくように立ち並び、その規模の大きさをうかがわせる
- 03. 長倉哲平GM(右)と庄司剛人課長

#### COMPANY PROFILE //////////////////////////////////////



#### N.E.W. Vietnam Co.,Ltd. (株式会社 長倉製作所)

取締役社長：長倉 修二  
所在地：No.7 Road, Long Binh Industrial Zones (Amata),  
Bien Hoa City, Dong Nai, Province, Vietnam  
従業員数：1200名  
www.nagakura-mc.co.jp

 N.E.W. Vietnam Co.,Ltd.



アジア進出時からマザック機を検討していたという長倉常務(右)

#### QUICK TURN PRIMOSの 開発にも生かされた実践的な提案

同社で稼働している設備機械はおおよそ700台。このうち約20%にあたる150台以上をマザック機が占めています。そのすべてがマザックシンガポール工場製のQUICK TURN PRIMOS 150 SとQUICK TURN SMART 150 S。「機械のサイズ、性能とも当社の仕事に適しているのが何より。機械調達ばかりでなく、きめ細かなサポートをシンガポールとベトナム(ホーチミン)から受けられるのも魅力」(同)。同社がマザック機を選び、継続的に追加発注している理由です。

長倉常務はマザックとの関係について「アジアの発展を見越し、重要拠点とする考え方が共通している」とし、メーカーとユーザーというありきたりのものでなく、価値観を共にするビジネスパートナーである点を強調。例えば、QUICK TURN PRIMOSの開発時にはヘビーユーザーの立場から同社が提案した実践的な意見が反映されています。ちなみに、同社の提案に基づくプログラムを走らせたところ、サイクルタイムは他社製機械よりも短くなったそうです。

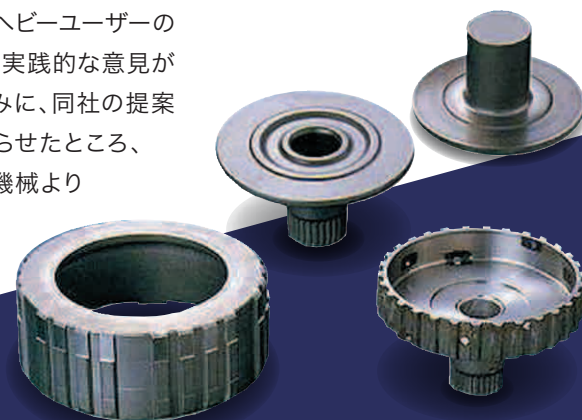
#### 若い人を育む働きやすい職場環境を整える

工場運営面での特徴は、長倉哲平GMをはじめとする両国スタッフの若さです。30代でマネージャーに登用されている現地人スタッフも珍しくありません。若い人が思う存分活躍できる働きやすい環境を整えることは進出工場の務めでもあります。離職率が高いといわれるベトナムで驚異的に高い同社の定着率は、職場環境の良さを示す目安といえるでしょう。

「開業時からの現地人スタッフがいるのは居心地の良さの証し。世界に通用するビジネスを推し進めていくためにも、現地スタッフに技術継承を根付かせたいですね」(同)。北中米、アジアに続き、欧州の仕事を増やすことで世界制覇を成し遂げたい同社にとって、現地スタッフへの技術継承はグローバル展開の成否を占う試金石といえるでしょう。



ここベトナムのほか、メキシコでもマザックシンガポール工場製の機械が活躍中。今後の世界制覇に向け、ますますの活躍が期待される



▶高精度押し出し加工と金属成形技術の総力を結集したネットシェイブ





01

## Customer Report 04

## 自動車部品からギターまで、なんでも喜んで

## U.S.A. Wolfert's Tool &amp; Machine Co., Inc.

昨年開かれたIMTS2014(通称シカゴショー)でマザックはケンタッキー工場の独自開発機を多数披露しました。同じブースで機械と同じくらい来場者の目を引いたのは無垢のアルミを削り出した「ケンタッキー工場創立40周年記念ギター」でした。寄贈したのは部品加工業のWolfert's Tool & Machine Co., Inc.(ケン・ウォルハート社長)。加工物を選び好みしない確かな技術力に定評があります。



St. James, Missouri



02



03

01. ウォルハート社の「Metalin」ギター。インパクトのあるデザインがズラリ  
02. 工場内のQUICK TURN NEXUS 250-II MSY  
03. 「Metalin」ギター」ショップスタッフのみなさん

## COMPANY PROFILE //////////////////////////////////////



## Wolfert's Tool &amp; Machine Co., Inc.

取締役社長：Ken Wolfert  
所在地：#5 Industrial Drive St. James, MO 65559  
従業員数：16名  
www.wolfert.com



## 豊かな音色生み出す多工程と細部加工

部品加工と並ぶ事業の柱であるギター製造は自らも奏者としてギターに関わりのあるウォルハート社長の発案によるもの。木製ギターの主要素材である桤が枯渇する恐れがあることを知り、代替案としてバスト氏に設計を依頼したのが始まりです。3年間の試行錯誤を経て同社は製品化に成功。「Metalin」のブランドで販売されています。この製品の特徴は熱や冷え、湿気といった刻々と変わる大気の影響を受けにくいこと。寒暖差の激しい地域を船で移動したにもかかわらず、チューニングはまったくずれていなかったそうです。



マザロールを操作するオペレータ

「マザック機の安定した性能でボディの品質が一定に保たれているからです。アルミ製とは思えない豊かな音色は多くの工程と複雑な細部加工で生み出されます。同じ加工を繰り返す際の精度が素晴らしいだけでなく、オーダーメイドに柔軟に対応できるのも利点。特注プログラムを組み込むだけで済むのでコスト低減にも役立ちます」(バスト氏)。

## Customer Report 04

U.S.A. Wolfert's Tool &amp; Machine Co., Inc.



Metalin'ギターを考案したウォルハート社長(右)とオペレータのデサロ氏

IMTSのマザックブースで話題をさらった記念ギターは現在、美濃加茂製作所に隣接するワールドテクノロジーセンタで来場者の目を楽しませています。加工の大部分を担ったのはVERTICAL CENTER NEXUS 510Cでした。

「会場で存在感を訴えるため、マザックのロゴを彫り込むのではなく、周りを削り取ることでロゴが浮き出るようにしました。スタンドにはモーターを取り付け、どこからでも見られるようにしました」(ウォルハート社長)。

ウォルハート社長とバスト氏はワールドテクノロジーセンタのソリューションギャラリーで記念ギターと待望の再会を楽しみにしています。

▶ ギタースタンドの造形もユニーク







PROFILE >> 竹内 大生 さん

2006年YMT 船積業務課E/Lチームに配属。09年シンガポールに赴任。15年YMT E/L業務課に復帰。休日は洗車→ドライブ→映画鑑賞でリフレッシュ。1983年愛知県知多市生まれ。

# MAZAK PEOPLE

Yamazaki Mazak Trading Corporation / E/L Section

🇯🇵 竹内 大生 さん Mr.Daiki Takeuchi

## 経験は自分の視野を広げる

製造から販売、アフターフォローまで、国内外にたくさんの関連拠点を展開するヤマザキマザック。MAZAK PEOPLEは、グループ各社の第一線で活躍する人々を取り上げます。

今回登場するのは今年4月に5年8カ月のシンガポール勤務を終えたヤマザキマザックトレーディング(YMT)の竹内大生さん。その働きぶりに密着しました。

### —— 入社後の足取りは？

現職の前身である船積業務課のE/Lチームに配属され、機械を輸出する際に必要な輸出許可を日本政府から取得する業務に3年間従事しました。その後シンガポールに赴任し、国内でしていた業務に加えて受注報告や在庫機管理などの数字の取りまとめ、納期、仕様問い合わせなど、海外版社と日本本社をつなぐ窓口として営業業務に携わりました。

### —— シンガポールと日本の大きな違いは？

ありきたりですが、文化面です。赴任した当初は仕事の進め方や考え方の違いに戸惑うこともありましたが、それを「そういう考え方もある」と努めて受け入れるようにしました。この経験は、視野を広げてものを見る訓練にもなりました。実際、意見や考えの違いを「新たな提案」と思うことで、相手との話が円滑に進んだり、思いもよぬ面白い発見につながったりしたこともあります。

### —— 現地での暮らしは？

シンガポールは多種多様な民族が共存していて、営まれるライフスタイルもさまざまです。ですから、機会があれば、現地で知り合った人たちや欧米からの赴任者との食事やバーベキューなどに参加して異文化と触れるようにしました。週末は趣味の映画、演劇鑑賞を思う存分楽しみました。



シンガポール赴任時の同僚たち

### —— どんな苦労がありましたか？

赴任するまでE/L以外の業務経験はなし。シンガポールで任された営業業務はすべてがゼロからのスタートだったので、目の前の出来事を理解し判断するなど、一連の流れに慣れるまでは苦労しました。なりふりを構っている余裕もないので、分からないことは納得できるまで色々な人に聞いて回りました。振り返れば、他愛もない質問を受けていただいた方々には随分で迷惑をおかけしたと思います。その分、当時苦労して得た知識が今では自分の大きな財産になっています。



海外とのテレビ会議中

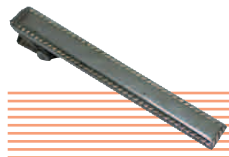
「相手がお客様であれ、同僚であれ、内容がなんであれ、自分がした仕事に対して人に感謝されると嬉しいですね。特に、相手が困っていることに対する提案が喜ばれる時は『やってよかった』と思います」という竹内さん。シンガポール赴任で広がった世界観や見識は、新たな業務にチャレンジする竹内さんの背中をしっかりと後押ししているようです。

### 竹内さんのビジネスアイテム

優秀なビジネスパーソンには仕事上のパートナーとして片時も手放せないアイテムがあります。竹内さんの一押しは？

#### 祖父から譲り受けたタイピン

入社時に祖父から譲り受けたタイピン。昔、学校の教員をしていた時に使っていたそうです。特別な機能があるわけではありませんが、スーツ着用時にいつも身に着けていたので、一種のお守りのような存在です。クールビズ期間もズボンのポケットにそっと忍ばせています。



## News & Topics

# 『MF-Tokyo 2015』でレーザの最新技術を提案



01



02



## MF-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展

日本最大級のプレス・板金・フォーミング展「第4回MF-Tokyo 2015」が7月15日から18日までの4日間、東京ビッグサイトで開かれました。223社、計1304小間が顔を揃えた今回展には前回を上回る3万人以上が来場。ヤマザキマザックは『次代の扉を開く To the Next Stage with M』をテーマに3機種を揃え、技術セミナーなどを交えてレーザ加工における革新的なもののづくりを提案しました。

### 注目集めた新型自社製トーチ採用機

ブースでは、自社開発のマルチコントロールトーチを採用した新型ファイバーレーザ加工機「OPTIPLEX 3015 FIBER II」が注目度

ナンバーワン。新製品「OPTIPLEX NEXUS 3015」は10段パレットチェンジャの付加で長時間運転できる点が評価されました。さまざまな長尺材を自由形状に3次元切断する3Dレーザ加工機「3D FABRI GEAR 220 II」は、この機種を目標に多くのお客様が来場されるほど定番的な存在感をアピール。各機種ともマザックらしい工程集約が加工製品の品質向上に大きく寄与することを実演で示しました。



03

- 01. ブース全景。大画面では3D FABRI GEARの納入事例を紹介
- 02. 角パイプを使った生産効率の体験コーナーを設けるなど、ブース内は連日賑わった
- 03. ブース内のアカデミーではマザック機の魅力を余すことなく紹介！



## レーザ加工機のエントリーモデルとして高いコストパフォーマンスを追求 OPTIPLEX NEXUS 3015



写真は2パレットチェンジャ(オプション)仕様

- 数々のインテリジェント機能が加工プロセスをサポート
- タッチパネル式CNC装置MAZATROL PREVIEW 3搭載
- 形状簡易入力機能により、パターン入力で簡単プログラミング



レーザ出力	2.5 kW
最大加工寸法	1525 × 3050 mm
移動量(X/Y/Z)	3100/1580/150 mm
機械の外観寸法	6450 × 2960 × H2420 mm (標準仕様)
	11925 × 5525 × H2420 mm (2パレットチェンジャ、オプション仕様)

## 今号の表紙



2015年のサイバーワールドを締めくくるのは、ワールドテクノロジーセンタで展示中の「ウォルハート社」のギター(ケンタッキー工場創立40周年記念モデル)です。アルミボディーの美しい輝きが来場者の目を引いています。

ワールドテクノロジーセンタではさまざまな加工ワークを展示中。自動車・航空機・エネルギー・医療など多岐にわたる工作機械の可能性を、ぜひこのワールドテクノロジーセンタで体感してください。



ヤマザキマザック美術館は、美術鑑賞を通して豊かな地域社会の創造、ひいては日本、世界の美と文化に貢献すべく、名古屋の中心地 葵町に、2010年4月に開館致しました。

当館は、創立者で初代館長の山崎照幸(1928-2011)が蒐集した18世紀から20世紀にわたるフランス美術300年の流れを一望する絵画作品及びアール・ヌーヴォーのガラスや家具等、ヤマザキマザックのコレクションを所蔵・公開しております。

みなさまのご来館をお待ちしております。



THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART

## 所蔵作品ご紹介

### エミール・ガレ「葡萄文水差」

蔓を広げ、たくさんの実をつける葡萄は、古来、多産豊穡の象徴として陶磁器や絵画などに描かれてきました。ワインの原料としても馴染み深く、聖書の中では「神の象徴」とされることから、ガレは葡萄をモチーフにさまざまな作品を残しました。

器全体に広がるたわわに実った葡萄は、芳醇な味わいを感じさせる濃い茶色であらわされています。幾層にも重なり合う葡萄の枝葉や果実は、アール・ヌーヴォーの特徴である有機的な曲線美が活かされています。

手前に広がるみずみずしい葡萄の実は、カボションで立体的にあらわされています。カボションとは中世フランス語で「頭」を意味する言葉で、石を丸い山形に整える宝石の加工方法です。本作では金箔を封入した半球状のオパールガラスを溶着させています。飴細工のように自在に貼りつけられた枝と葡萄の実の黄金の輝きは、実りの秋の豊穡を印象付けています。晩年のガレらしい、深みのある作品です。

エミール・ガレ(1846-1904)「葡萄文水差」1900 年頃

### カミーユ・ピサロ「ルーアンの波止場・夕陽」

かつてノルマンディー公国の首都として栄えたルーアンは、ローマ時代からセーヌ河を利用した水運の拠点として発展してきました。画家ピサロが初めてルーアンに長期滞在したのは1883年です。この町に魅せられたピサロは1896年に再度訪れ、波止場を見下ろすホテルの窓から、活気づく港の様子やセーヌ河にかかる橋などを描きました。波止場の右岸から見た左岸の様子が描かれたこの絵は、9月8日から11月12日にかけて制作されました。

夕暮れ時の柔らかな陽の光とそれを反映する水面や立ち昇る水蒸気が、船のマストや人影の黒とのコントラストによって一層キラキラと輝きを増しています。活気に満ちた港の空気が感じられる作品です。ピサロはパリ近郊の田園地帯に住んで、風景を主題に描き続けました。

印象派の画家と言えばピサロの他、マネ、モネ、ルノワール、ドガ、シスレーなどの名が挙げられます。「印象派展」は1874年の第1回展から1886年の第8回展まで続きましたが、8回すべてに参加したのはピサロだけでした。ピサロこそ生粋の印象派と言えるかもしれません。

THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART

## 所蔵作品ご紹介



カミーユ・ピサロ(1830-1903)「ルーアンの波止場・夕陽」1896 年頃